

**ウテナが正規品判定クラウドサービス「C2V Connected」を導入
中国市場など出荷先国の消費者に正規品判別の確認手段を提供**

株式会社 ウテナ（以下ウテナ）は、このほどキヤノン IT ソリューションズ株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：足立正親、以下キヤノン ITS）が提供する正規品判定クラウドサービス「C2V Connected（シーツーヴィ・コネクティッド）」を導入しました。

＜正規品判定クラウドサービス「C2V Connected」の利用イメージ＞



日本製化粧品のクオリティの良さを実感した訪日外国人が、帰国後にネット等で購入を続ける事例が増えつつあります。化粧品の製造販売事業を展開しているウテナは、中国市場を中心に販売量を拡大しています。特に、同社の人気スキンケア商品であるシートマスク「プレミアムプレサ」の販売が好調で、ウテナはさらなる販売量の拡大とブランド力の向上につなげる施策を検討してきました。

こうした背景の中、このたびウテナはキヤノンITSが提供する正規品判定クラウドサービス「C2V Connected」を採用、導入しました。本サービスは、消費者自らが商品に貼付されたIDタグをスマートフォンで読み取り、商品が正規品かどうかを簡単に判別できる模倣品対策サービスです。スキンケア商品は消費者の肌に直接触れる商品であるため、ウテナが消費者に対して正規品かどうかを確認する手段を提供することで、大きな効果を見込んでいます。

例えば、消費者による模倣品の誤認購入防止（消費者保護）、模倣品による低品質風評被害の防止（ブランド保護）、これらの効果による市場シェアの拡大（売上拡大）などが期待されます。ウテナは4月1日から出荷する「プレミアムプレサ ゴールドンジュレマスク」「同 ビューティーマスク」全品に、正規品判定クラウドサービス「C2V Connected」の正規品判定用IDタグ（シールラベル）を貼付します。

